

## 家族みんなが安心して暮らせる家に

## SDGsラジオを読んでみよう！

「バリアフリー」という言葉を聞いたことはありますか？

バリアフリーとは、人々が生活するうえで障害となるものを取り除くことです。

次に、「ユニバーサルデザイン」という言葉は知っていますか？

ユニバーサルデザインとは、年齢や性別などにかかわらず、誰もが使いやすいデザインのことで、

このバリアフリーとユニバーサルデザインのどちらも大切に商品をつくっているのが、窓の会社「YKK AP(ワイケイケイエーピー)」です。

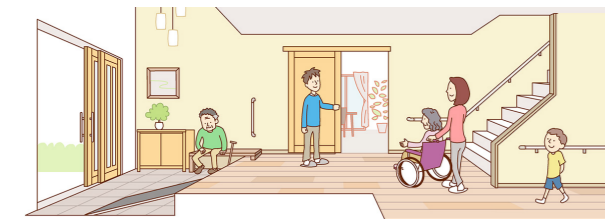
例えばそんな商品のひとつ、「ノンレール引き戸」は、その名前の通り床にレールがないため

家の中の段差が無くなり、つまづく危険性が低くなります。

ほかにも、立ったり、座ったりがしやすくなる「手すり」をはじめ、さまざまな商品があります。

バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れてつくられたものがみなさんの周りにもきっとあります。探してみてくださいね。

## SDGsラジオの内容を、もっと詳しく知ろう！



画像参照：家族みんなが暮らしやすい家(YKK APのHPより)

「バリアフリー」とは、身体が不自由な人や高齢者、小さな子どもまで、誰もが生活しやすいようにバリア(障害)を取り除くことです。例えば、段差をなくしたり、車いすで移動しやすい道を作ったりすることもバリアフリーの一部です。そして、「ユニバーサルデザイン」とは、年齢や性別、身体の違いに関係なく、みんなが使いやすいように作られたデザインのことで、ユニバーサルデザインには色の識別が難しい人でもわかりやすい標識や、手がふさがっているときでも便利な自動ドアなどがあります。



画像参照：ノンレール引き戸イメージ画像(YKK APのHPより)

バリアフリーとユニバーサルデザインを大切にしながら商品を作っているのが、窓の会社「YKK AP」です。例えば、YKK APの「ノンレール引き戸」は床に段差がなくなるので、つまづく心配が減ります。そうすることで、特に高齢者や小さな子どもが安全に移動できるようになります。また、立ったり座ったりを助けてくれる手すりや、指はさみを防ぐ工夫がされた窓など、さまざまな商品を通して、家族みんなが住みやすい家づくりのお手伝いをしています。バリアフリーとユニバーサルデザインはどちらも、誰もが快適に暮らせる社会をつくるためにも大切な考え方です。

## キーワード

## バリアフリー

バリアフリーは、身体が不自由な人や高齢者、ベビーカーを使っている人など、みんなが生活しやすいように、障害となるものを取り除くことです。

## ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインは、年齢や性別、身体の違いに関係なく、いろんな人が使いやすいように物や場所を作る考え方です。

## ノンレール引き戸

ノンレール引き戸は、普通の引き戸と違って上にレール(溝)があり、床にはレールがないので、床に段差がなくなって歩きやすくなります。このドアはワイヤーでつながっていて、軽い力で簡単に開けたり閉めたりできます。

## 対象ゴール



## みなさんにできること！

身近なところにバリアフリーやユニバーサルデザインがないか、探してみましょう。

## おさらい

- バリアフリーとは、人々が暮らしやすいように障害物を取り除くこと。
- ユニバーサルデザインとは誰もが使いやすいようにつくられたデザインのことで、
- YKK APでは、バリアフリーとユニバーサルデザインの考え方を大切にしながらものづくりをしている。

## メモ



SDGs ラジオ